

【教育活動の名称】 オペレッタ

【学校名】

甲賀市立多羅尾小学校

1 本校の概要

本校は、全校児童数9名の極小規模校である。少人数ならではの課題を克服することをねらいとして、36年前からオペレッタに取り組んでいる。この活動は、児童の実態に合わせながら、自己存在感を高め、共感的な人間関係を築き、成功体験から自信を深め、さらに表現力や根気強さ、チャレンジ精神など様々な力を引き出し伸ばす活動として、地域にも認められた本校の大きな特色となっている。

2 取り組んだ内容

(1) 一年をかけたの創造的活動

6年生は、4月から活動が始まる。子どもたち自身は何十もの作品を読み比べて作品を選び、作者や作品について研究を重ねる中でテーマを考え、めざす舞台を決めていく。並行して、台本や大道具・小道具も子どもたちが作る。また、登場人物のキャラクターやセリフ、配役も6年生が考えて、下学年に向けて、プレゼンや配役発表も行った。その後は、セリフ、歌、動きの練習を積み重ねていく。1年生でもセリフがあり、6年生はソロで歌う歌もある。40分ほどの演技時間の内容(セリフ・歌)を全員が全部覚えてしまうほどの練習量である。1時間ずつ、目標をもち、振り返り、お互いにアドバイスをしながら、自分たちで考えてより良いものへと創りあげていった。

公演後も、丁寧に振り返りを行い、次年度に生かすため、引継ぎを形にして残している。

(2) オペレッタ公演

今年度は創立150周年記念式典も兼ねており、発表当日は、140名ほどの観客の前で、9名が堂々と演じきった。

今年度の演目は「ブレーメンの音楽隊」、テーマは「めざす願いに向かって、可能性を信じ、お互いを信じ、助け合おう!」、そしてめざす舞台は「面白味があり、それぞれの個性が感じられる舞台」だった。

また、日ごろお世話になっている家族や地域の方々に対して、「感謝の思いを伝える」ということも大事にしながらの公演となった。

3 活動の成果

今回、本事業で助成いただいたおかげで、大勢の観客が少しでも見やすく、満足していただける一助となった。

大勢の方に鑑賞していただき、認めていただくことで、子どもたちは自信を深め、大きな達成感を得ることができた。

以下、児童の振り返りからの抜粋である。

- 全力を出して気持ちやテーマをお客様に伝えることを意識してがんばった。
- お客様に喜んでもらったことが一番嬉しかった。
- 人前で発表することに、ワクワクできるようになった。
- 緊張してもミスしても、堂々と演じる度胸や自信がついた。達成感が大きい。
- あきらめずやりきる、いつかできると信じて進むことが大切。協力し合うこと、みんな仲間だと思ふこと。だからオペレッタも成功した。

子どもたちは、この本校の伝統的な取組に誇りをもち、多くを学び、それを言葉にして、その後の学校生活にも生かすことができている。

